

黄色い浸出液をきっかけに根本治療を求めた成人アトピーの経過 (24 歳)

症例 ID：001-20-IK3 | 記録日：2016 年 9 月 6 日

1. 診断・治療前経過

20 歳頃にアトピー性皮膚炎を発症し、皮膚科でステロイド外用薬と内服薬を使用していました。一時的におさまるものの、症状を繰り返す状態でした。

複数の医療機関を受診しても同様の治療が続き、うなじ付近の掻破部から黄色い汁が止まらなくなったことをきっかけに松本医院へ至りました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	20 歳頃から皮膚科でステロイド外用薬と錠剤を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	20 歳頃から来院前まで使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、漢方薬を飲みながら治療を継続しています。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
20 歳頃	来院前	肌荒れからアトピー性皮膚炎とされ、ステロイド外用薬と錠剤を使用しました。
来院前 2 年間	来院前	複数の医療機関を受診しましたが、症状を繰り返しました。
うなじ悪化時	来院前ピーク	掻きむしった傷口から黄色い汁が出て止まらなくなりました。
松本医院受診後	治療開始	漢方薬を飲みながら治療を開始しました。
現在	経過中	夜もかゆくて掻きむしり、少し良くなってはまた波がある状態を繰り返しています。

4. ピーク時期

ピークは、うなじ付近の傷口から黄色い汁が止まらなくなった時期です。

5. 困りごと

- 症状を繰り返し、同じような治療が続くことへの不安がありました。
- 治療中も夜間のかゆみと掻破が続いています。

6. 経過のまとめ

20 歳頃から症状が始まり、ステロイド外用薬と内服薬を使用しても症状を繰り返していました。うなじの傷口から黄色い汁が止まらなくなったことをきっかけに治療を開始しました。

現在は漢方薬を飲みながら、かゆみや症状の波を繰り返しつつ治療を継続している途中です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。